

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年10月15日
【四半期会計期間】	第13期第2四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
【会社名】	株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
【英訳名】	Yoshimura Food Holdings K.K.
【代表者の役職氏名】	代表取締役CEO 吉村 元久
【本店の所在の場所】	東京都千代田区内幸町二丁目2番2号
【電話番号】	03 - 6206 - 1271（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役CFO 安東 俊
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区内幸町二丁目2番2号
【電話番号】	03 - 6206 - 1271（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役CFO 安東 俊
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第12期 第2四半期 連結累計期間	第13期 第2四半期 連結累計期間	第12期
会計期間	自2019年3月1日 至2019年8月31日	自2020年3月1日 至2020年8月31日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高 (千円)	14,802,432	14,809,093	29,875,734
経常利益 (千円)	504,024	295,896	740,157
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	232,047	94,451	177,214
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	184,032	297,337	426,070
純資産額 (千円)	5,064,722	6,416,415	6,678,097
総資産額 (千円)	19,663,629	23,094,926	23,877,396
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	10.53	4.22	8.02
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	10.31	4.18	7.86
自己資本比率 (%)	22.70	14.03	14.35
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	905,828	1,077,538	603,000
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	2,927,414	398,223	5,004,508
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	2,768,856	368,994	4,816,336
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	2,796,319	3,502,973	2,495,440

回次	第12期 第2四半期 連結会計期間	第13期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年6月1日 至2019年8月31日	自2020年6月1日 至2020年8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.18	4.20

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

主要な関係会社の異動については、以下のとおりです。

< 製造事業 >

当第2四半期連結会計期間において、株式会社香り芽本舗を株式の取得により子会社化し、連結の範囲に含めております。

< 販売事業 >

主要な関係会社の異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスク発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により停滞を余儀なくされております。また、緊急事態宣言解除後は経済活動が徐々に再開しているものの、依然として新型コロナウイルス感染拡大の懸念があり、先行きは不透明な状況が続いております。

国内の食品業界におきましては、景気下振れ懸念、インバウンド旅客の減少、さらには感染防止対策としての外出自粛等により外食産業向けの需要の減少が見られた一方、巣ごもり消費の増加により、大手量販店、食品スーパー、ドラッグストア、ディスカウントストア等小売店向けの需要が伸長いたしました。

このような環境の下で当社グループは、M & Aにより国内および海外事業の拡大を図るとともに、中小企業支援プラットフォームを活用し、傘下企業間のシナジー効果を発揮することで企業価値の向上に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、国内事業は堅調に推移したものの、海外事業は、当期間においてシンガポールで部分的ロックダウンが行われたことで一部子会社が事業を停止したこと、および販売先の多くが休業もしくは事業を縮小したことから前年を大きく下回りました。

その結果、売上高は、14,809,093千円（前年同期比0.0%増）、営業利益は、M & Aに伴う取得費用を62,439千円を計上したことにより、247,066千円（同48.7%減）、経常利益は、第2四半期末における外国為替相場の変動により為替差損を62,907千円計上したことにより、295,896千円（同41.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、94,451千円（同59.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

製造事業

製造事業につきましては、M & Aにより国内および海外事業の拡大を図るとともに、「中小企業支援プラットフォーム」の各機能による支援により、取引先の新規開拓や新商品の開発、生産効率化等の取り組みをおこなってまいりました。こうした中、国内子会社は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い巣ごもり需要が増加したことで増収となる一方、海外子会社は、当期間に実施されたシンガポールにおける部分的ロックダウンにより一部子会社が事業を停止を余儀なくされ、また、販売先であるホテルや飲食店等が事業を停止もしくは縮小したことから減収となりました。その結果、売上高は、10,975,798千円（前年同期比6.3%増）、利益は、海外事業における売上減少に伴い固定費が収益を圧迫したことから、312,949千円（前年同期比26.1%減）となりました。

販売事業

販売事業につきましては、「中小企業支援プラットフォーム」による情報網等を活用し、既存取引先への深耕および企画販売の強化に努めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内子会社は主に産業給食向けの売上が減少し、海外子会社はシンガポールにおける部分的ロックダウンにより外食、ホテル向けの販売が低調となりました。その結果、売上高は、3,833,294千円（前年同期比14.3%減）、利益は、186,384千円（前年同期比37.4%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は23,094,926千円となり、前連結会計年度末に比べて782,470千円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少984,882千円、のれんの減少355,137千円、棚卸資産の減少177,795千円、有形固定資産の減少129,897千円および現金および預金の増加945,951千円があったことによるものです。

負債は16,678,511千円となり、前連結会計年度末に比べて520,788千円減少しました。これは主に、買掛金の減少378,511千円、流動負債のその他の減少330,170千円および借入金等の増加360,047千円があったことによるものです。

また、純資産は6,416,415千円となり、前連結会計年度末に比べて261,681千円減少しました。これは主に、資本金の増加25,542千円、資本剰余金の増加25,542千円、利益剰余金の増加94,451千円および為替換算調整勘定の減少336,459千円、非支配株主持分の減少75,499千円があったことによるものです。

(3) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間に比べ、706,654千円増加し、3,502,973千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,077,538千円(前第2四半期連結累計期間は905,828千円の収入)となりました。

これは主に、売上債権の減少1,023,395千円、税金等調整前四半期純利益292,036千円および減価償却費245,820千円等の増加要因に対し、仕入債務の減少378,744千円および未払金の減少152,265千円等の減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、398,223千円(前第2四半期連結累計期間は2,927,414千円の使用)となりました。

これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出348,670千円および有形固定資産の取得による支出120,075千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、368,994千円(前第2四半期連結累計期間は2,768,856千円の収入)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入2,540,000千円の増加要因に対し、短期借入金の減少1,126,529千円および長期借入金の返済による支出952,087千円等の減少要因があったことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当社は、2020年3月18日開催の取締役会において、株式会社香り芽本舗の株式を取得し、子会社化することについて決議を行い、同日付で株式譲渡契約を締結し、2020年6月1日に当該株式を取得いたしました。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(企業結合等関係)」に記載のとおりであります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	75,000,000
計	75,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年10月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	22,419,295	22,581,095	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	22,419,295	22,581,095	-	-

- (注) 1 2020年9月18日を払込期日とする第三者割当による増資により、提出日現在発行数は161,800株増加しております。
- 2 「提出日現在発行数」欄には、2020年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年6月1日～ 2020年8月31日 (注)	-	22,419,295	-	553,383	-	553,383

(5) 【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
吉村 元久	東京都千代田区	8,796,595	39.24
株式会社日本カストディ銀行(信託 口)	東京都中央区晴海1-8-12	1,859,600	8.30
山口 貴弘	東京都新宿区	1,084,000	4.84
日本たばこ産業株式会社	東京都港区虎ノ門2-2-1	1,052,500	4.70
株式会社日本カストディ銀行(信託 口9)	東京都中央区晴海1-8-12	965,700	4.31
株式会社日本カストディ銀行(証券 投資信託口)	東京都中央区晴海1-8-12	664,000	2.96
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	618,900	2.76
J.P.MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A.1300000 (常任代理人 株式会社みずほ銀 行)	EUROPEAN BANK AND BUSINESS CENTER 6,ROUTE DE TREVES,L-2633 SENNINGERBERG,LUXEMBOURG (東京都港区港南2-15-1)	239,100	1.07
株式会社日本カストディ銀行(信託 口5)	東京都中央区晴海1-8-12	229,100	1.02
RBC ISB A/C LUX NON RESIDENT/DOMESTIC RATE-UCITS CLIENTS ACCOUNT (常任代理人 シティバンク)	14 PORTE DE FRANCE, ESCH-SUR- ALZETTE, LUXEMBOURG, L-4360 (東京都新宿区新宿6-27-30)	208,200	0.93
計	-	15,717,695	70.12

(注) 1. 当第2四半期会計期間末現在における上記信託銀行の信託業務に係る株式数については、当社として把握することができないため記載しておりません。

2. 2020年5月12日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、アセットマネジメントOne株式会社が2020年4月30日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として議決権行使基準日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	株券等保有割合 (%)
アセットマネジメント One株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目8番2号	2,105,000	9.39

3. 2018年8月21日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、レオス・キャピタルワークス株式会社が2018年8月15日現在で以下の株式を保有している旨が記載されておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。
なお、大量保有報告書の内容は以下のとおりです。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	株券等保有割合 (%)
レオス・キャピタル ワークス株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目11番1号	1,126,600	5.03

(6)【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,413,000	224,130	-
単元未満株式	普通株式 3,995	-	-
発行済株式総数	22,419,295	-	-
総株主の議決権	-	224,130	-

【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス	東京都千代田区内幸町二丁目2番2号	2,300	-	2,300	0.01
計	-	2,300	-	2,300	0.01

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,015,143	3,961,094
受取手形及び売掛金	5,585,039	4,600,156
商品及び製品	4,459,138	3,803,180
原材料及び貯蔵品	891,189	1,369,351
その他	230,474	244,393
貸倒引当金	32,894	68,480
流動資産合計	14,148,090	13,909,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,590,723	1,555,494
機械装置及び運搬具(純額)	925,041	855,606
その他(純額)	1,612,504	1,587,271
有形固定資産合計	4,128,269	3,998,372
無形固定資産		
のれん	4,671,998	4,316,861
その他	139,135	121,592
無形固定資産合計	4,811,134	4,438,453
投資その他の資産		
その他	810,268	768,597
貸倒引当金	20,366	20,194
投資その他の資産合計	789,901	748,403
固定資産合計	9,729,305	9,185,229
資産合計	23,877,396	23,094,926

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,757,557	2,379,045
短期借入金	3,039,881	1,867,016
1年内償還予定の社債	55,000	-
1年内返済予定の長期借入金	1,513,890	1,790,179
未払法人税等	342,690	329,509
未払消費税等	151,327	56,032
賞与引当金	155,062	135,778
その他	1,734,173	1,404,003
流動負債合計	9,749,583	7,961,565
固定負債		
長期借入金	7,119,277	8,430,901
退職給付に係る負債	13,097	32,940
その他	317,339	253,102
固定負債合計	7,449,715	8,716,945
負債合計	17,199,299	16,678,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	527,841	553,383
資本剰余金	619,198	644,740
利益剰余金	2,216,063	2,310,514
自己株式	759	759
株主資本合計	3,362,343	3,507,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,396	8,768
為替換算調整勘定	60,248	276,211
その他の包括利益累計額合計	63,645	267,442
新株予約権	1,212	582
非支配株主持分	3,250,895	3,175,395
純資産合計	6,678,097	6,416,415
負債純資産合計	23,877,396	23,094,926

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	14,802,432	14,809,093
売上原価	11,689,849	11,572,898
売上総利益	3,112,583	3,236,194
販売費及び一般管理費	2,630,826	2,989,127
営業利益	481,756	247,066
営業外収益		
受取賃貸料	12,349	15,087
補助金収入	-	82,094
受取補償金	14,224	13,871
その他	12,459	31,801
営業外収益合計	39,033	142,855
営業外費用		
支払利息	13,276	29,344
為替差損	-	62,907
その他	3,489	1,774
営業外費用合計	16,765	94,025
経常利益	504,024	295,896
特別利益		
固定資産売却益	397	368
特別利益合計	397	368
特別損失		
固定資産除却損	4,375	4,228
固定資産売却損	30	-
特別損失合計	4,405	4,228
税金等調整前四半期純利益	500,016	292,036
法人税、住民税及び事業税	194,751	175,202
法人税等調整額	3,798	25,373
法人税等合計	198,550	200,576
四半期純利益	301,466	91,460
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	69,418	2,991
親会社株主に帰属する四半期純利益	232,047	94,451

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	301,466	91,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,899	5,371
為替換算調整勘定	115,534	395,088
持分法適用会社に対する持分相当額	-	919
その他の包括利益合計	117,433	388,797
四半期包括利益	184,032	297,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,420	236,636
非支配株主に係る四半期包括利益	58,612	60,701

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	500,016	292,036
減価償却費	159,404	245,820
のれん償却額	138,572	179,499
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,109	37,217
賞与引当金の増減額(は減少)	22,535	27,015
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	168	4,188
受取利息及び受取配当金	2,212	4,068
支払利息	13,276	29,344
固定資産売却損益(は益)	367	368
固定資産除却損	4,375	4,228
売上債権の増減額(は増加)	529,090	1,023,395
たな卸資産の増減額(は増加)	113,904	226,016
仕入債務の増減額(は減少)	399,928	378,744
差入保証金の増減額(は増加)	11,476	6,971
未払金の増減額(は減少)	154,727	152,265
未払費用の増減額(は減少)	85,532	76,636
未払消費税等の増減額(は減少)	49,734	59,156
その他	82,677	57,828
小計	1,018,125	1,284,257
利息及び配当金の受取額	2,212	4,068
利息の支払額	13,647	33,825
法人税等の支払額	100,861	176,961
営業活動によるキャッシュ・フロー	905,828	1,077,538
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	365,222	120,075
有形固定資産の売却による収入	1,644	841
有形固定資産の除却による支出	3,441	2,989
無形固定資産の取得による支出	92,630	2,105
投資有価証券の取得による支出	769	786
定期預金の払戻による収入	-	77,234
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	2,465,367	348,670
その他	1,626	1,672
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,927,414	398,223
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	277,140	1,126,529
長期借入れによる収入	3,184,950	2,540,000
長期借入金の返済による支出	698,636	952,087
社債の償還による支出	5,000	55,000
自己株式の取得による支出	19	-
リース債務の返済による支出	36,514	87,842
新株予約権の行使による株式の発行による収入	46,937	50,454
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,768,856	368,994
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,471	40,776
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	723,798	1,007,532
現金及び現金同等物の期首残高	2,072,520	2,495,440
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,796,319	3,502,973

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社香り芽本舗の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で、わが国において緊急事態宣言が発出されたことや、海外において経済・社会活動が制限されたことにより、当社グループの事業活動に影響を及ぼしております。新型コロナウイルス感染症の収束時期については不確実性を伴うため、先の見通しが困難ではありますが、当社グループでは、四半期連結財務諸表作成時点において入手可能な情報に基づいて判断した結果、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が当事業年度末にかけて徐々に収束し回復に向かうものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性の判断や固定資産の減損損失の判定等の会計上の見積りをおこなっております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
運搬費	888,997千円	960,211千円
給料及び手当	494,926千円	639,638千円
貸倒引当金繰入額	2,109千円	37,375千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
現金及び預金勘定	2,809,319千円	3,961,094千円
預入期間が3か月を超える定期預金	13,000千円	458,120千円
現金及び現金同等物	2,796,319千円	3,502,973千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,330,137	4,472,295	14,802,432	-	14,802,432
セグメント間の内部売上高又は振替高	173,476	115,375	288,852	288,852	-
計	10,503,613	4,587,670	15,091,284	288,852	14,802,432
セグメント利益	423,604	297,947	721,551	239,794	481,756

(注)1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「製造事業」セグメントにおいて、2019年6月3日に株式会社森養魚場が新たに連結子会社となっており、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において523,092千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,975,798	3,833,294	14,809,093	-	14,809,093
セグメント間の内部売上高又は振替高	204,028	96,326	300,355	300,355	-
計	11,179,827	3,929,621	15,109,448	300,355	14,809,093
セグメント利益	312,949	186,384	499,334	252,267	247,066

(注)1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称および事業の内容

被取得企業の名称 株式会社香り芽本舗

事業の内容 わかめ、ひじき、めかぶ製品の加工・製造・販売

(2) 企業結合を行った主な理由

株式会社香り芽本舗(以下、「香り芽本舗」といいます。)は、鳥根県出雲市に本社を置く、わかめ・ひじき・めかぶを使用した商品を製造する企業です。独自の仕入ルートにおいて厳選した良質な原材料を、長年にわたり培われてきた高度な製造技術により加工することで、主力商品であるソフトタイプの「わかめふりかけ」や「ひじきふりかけ」、その他「わかめスープ」、「わかめごはんの素」等の自社商品からOEM生産まで、高品質かつ多様なラインアップの商品を販売しております。特に、OEM生産を行っているソフトタイプのわかめふりかけは、地元中国地方のふりかけ市場でトップクラスのシェアを誇っており、また、全国各地のスーパーで販売される等、長年にわたり多くの人々に親しまれてきました。これは、良質な原材料を仕入れる同社の調達力や、高度な製造技術、高品質かつ安定的に商品を製造・販売できる独自のノウハウが、市場から高く評価されてきたためです。

当社は、香り芽本舗がもつ高い商品力、製造ノウハウに魅力を感じ、当社が構築する「中小企業支援プラットフォーム」を相互に活用し合うことにより、両社のさらなる成長を図ることができると考え、株式を取得することにいたしました。香り芽本舗の高品質な商品を、当社グループがもつ全国の販路へ販売すること、また、当社グループの生産・品質管理力、商品開発力、資金力を活用して増産を図ることで、さらなる成長を目指してまいります。

(3) 企業結合日

2020年6月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とした株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2020年6月1日から2020年8月31日まで

3. 被取得企業の取得原価および対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	1,012,203千円
取得原価		1,012,203千円

4. 主要な取得関連費用の内訳および金額

アドバイザー等に対する報酬・手数料 62,439千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

のれん及び負ののれんは発生していません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	10.53円	4.22円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	232,047	94,451
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	232,047	94,451
普通株式の期中平均株式数(株)	22,039,556	22,375,980
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	10.31円	4.18円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額	-	-
普通株式増加数(株)	461,619	225,191
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、2020年8月28日開催の取締役会において、次のとおり第三者割当による新株式の発行について決議し、2020年9月18日に払込が完了しております。

- (1) 発行する株式の種類及び数：普通株式 161,800株
- (2) 発行価格：1株につき926円
- (3) 発行価額の総額：149,826,800円
- (4) 資本組入額：1株につき463円
- (5) 資本組入額の総額：74,913,400円
- (6) 払込期日：2020年9月18日
- (7) 募集又は割当方法：第三者割当
- (8) 割当先及び割当株式数：株式会社ピー・アンド・イー・ディレクションズ 107,900株
株式会社ピー・アンド・イー・アセットマネジメント 53,900株
- (9) 資金の用途：財務基盤の強化を目的とした借入金の返済

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月14日

株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 泰 司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 竹 美 江 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングスの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。